豊橋競輪場基本計画（北エリア） 概要説明資料

「来て、見て、体感する TOYOHASHI KEIRIN」

豊橋競輪場は、現地でしか味わえない音・振動・熱気を体感できる場を創出し、
「家族みんなで楽しめるエンターテイメントスポット」 へと生まれ変わります！

TOYO に込めた想い

「TOYOHASHI」のTOYOをモチーフにした自転車のデザイン。
スピード感、熱気、振動――競輪場でしか味わえない迫力を表現しています！

計画の概要

豊橋競輪場は、昭和24年の開設以来多くのファンに親しまれてきました。
近年のインターネット投票の拡大や施設の老朽化により、来場者数は減少傾向にあります。
本計画では、競輪場の魅力向上と競輪事業の健全運営を目的に、新施設の整備を進めます。

現状と課題 ~豊橋競輪場~

【売上増加】
・インターネット投票が好調

【入場者数減少】
・10年前の3分の1程度に減少

【施設の老朽化】
・多くの施設が経年劣化しており、安全性や快適性の低下が課題。特に売店・前売り発売所などの改修が急務。

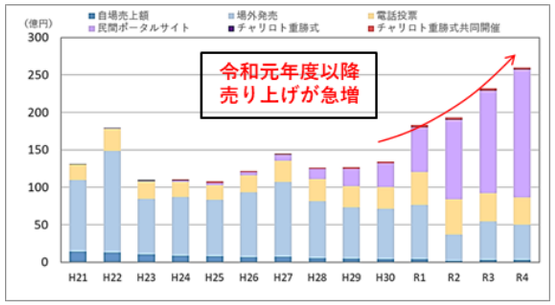
・高低差のある駐車場からのアクセスが階段のみのため、改善が必要。

駐車場と競輪場内の高低差

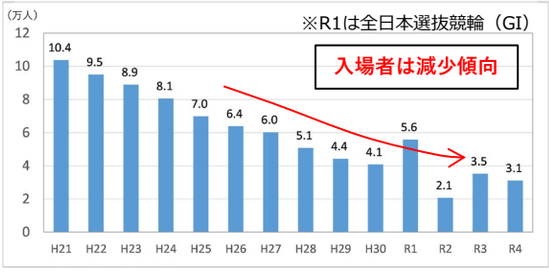
観覧スペース(サテライト姫路)

豊橋競輪場 空撮(現在)

【豊橋競輪売上(内訳)の推移】



【豊橋競輪入場者数(本場開催時)の推移】



来場者アンケート調査

☺「観覧や投票を快適に楽しみたい」➡モニターの増設や食堂の充実を希望
☺「飲食施設の充実」　➡ レース以外の楽しみ方を提供することへの期待
☺「早朝・前売発売所の改善」➡ 快適な滞在環境や駐車場からのアクセス向上
☺「健康遊具」「競輪に触れ合う施設や展示」などレース観覧以外の機能を求める声も多い。

参考施設(玉野競輪場)

参考施設(玉野競輪場)

参考施設(玉野競輪場)

参考施設(玉野競輪場)

基本方針

1. **快適な観覧環境の整備**
   ユニバーサルデザインを取り入れ、利便性と快適性を向上した観覧施設を充実させる。
2. **施設のコンパクト化**
   施設の規模を最適化し、管理・運用コストを削減しながら収益の最大化を目指す。
3. **地域住民の利用促進**
   コンパクト化で生まれたスペースを活用し、周辺住民や幅広い世代が楽しめる施設を整備する。

「来て、見て、体感する　HASHI KEIRIN」

新施設の役割と目的

メインスタンドの老朽化が進んでいるため、今後大規模な改修を予定しています。その際にも、レース観覧や投票といった競輪場の重要な機能を維持するために、北側エリアに利便性と快適性を向上させた新施設を整備し、代替機能を担うことになります。

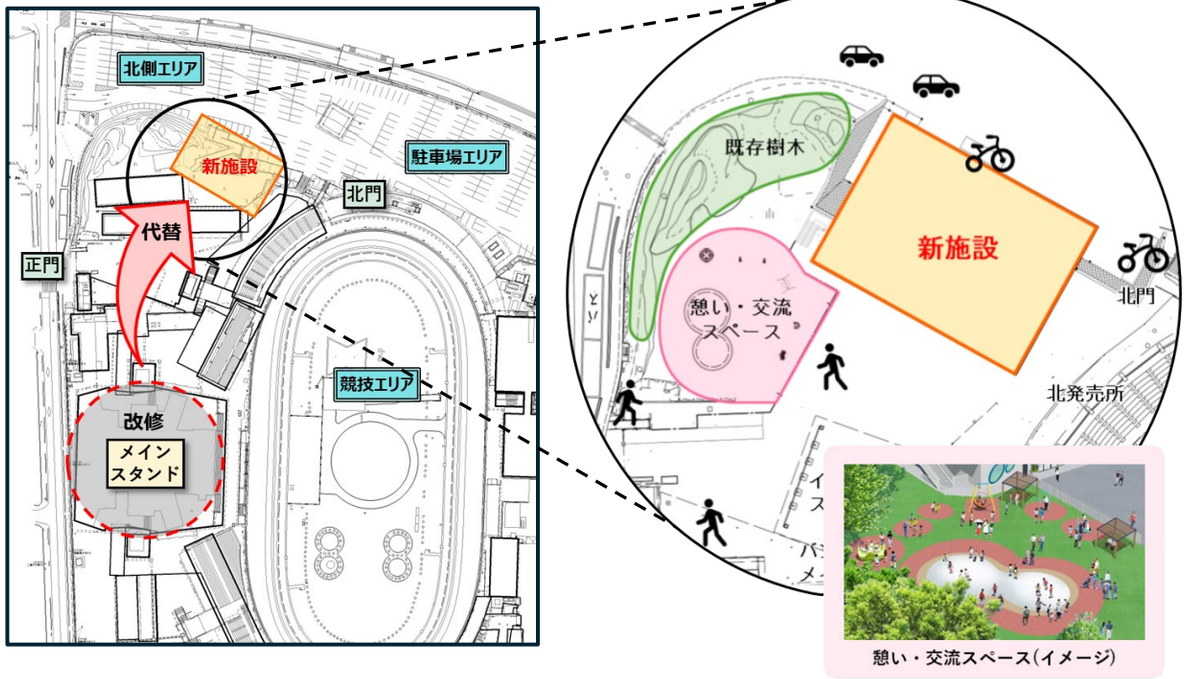
■主な役割

・早朝・前売発売所としての機能を持ち、来場者が快適に投票できる環境を提供。

・観覧・投票スペースを備え、改修期間中もレースを楽しめる。

・利便性向上を目的に、駐車場からのアクセスが良い北側エリアに設置。

また、新施設はメインスタンドの改修後もそのまま利用し、コンパクトで効率的な運営を目指します。これにより、来場者の利便性を維持しながら、無駄のない施設運営を可能にします。



憩い・交流スペース(イメージ)

■配置計画：周辺環境との調和・利用者の利便性を重視

・景観や安全性に配慮し、車両と歩行者の動線を分離

・利用者の使いやすさを考慮したわかりやすい配置

・早朝・前売発売所は北側駐車場と同じ高さに設置し、スムーズな移動を実現

・憩い・交流スペースを設け、地域の方々にも広く開かれ、気軽に立ち寄れる施設に

新施設イメージ

■構造計画：安全性と耐久性を重視

・基礎は斜面地に適した耐久性・安定性の高い鉄筋コンクリート造、上部構造は広い空間を確保しやすい鉄骨造を採用

・耐震・耐火構造とし、災害時の安全性を確保

・「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」に基づき、大地震時の人命・機能の確保が可能な耐震基準を適用

■設備計画：機能性と環境配慮を重視

・空調・照明・電源・モニターを適切に配置し、快適で使いやすい空間を提供

・省エネ設備や節水型器具を活用し、環境負荷を軽減

・太陽光発電を導入し、再生可能エネルギーを活用

・防犯カメラや電気錠などを設置し、セキュリティ対策を強化

■ユニバーサルデザイン計画：誰もが使いやすいデザインを採用

・バリアフリー動線を整備し、段差のない移動を実現

・車椅子利用者向けの駐車場、トイレ、観覧スペース、記載台を設置

・ファミリー層向けに、目の届きやすい場所にキッズスペースや遊具を配置

・案内所やわかりやすいサインを設置し、新規来場者にも優しい施設を目指す

「来て、見て、体感する HASHI KEIRIN」

新施設に整備される５つの機能

1. ゲート機能

- エントランスやエレベーターを設置し、高齢者や車椅子利用者など誰もがスムーズに利用できる、ユニバーサルデザインを採用。
- 駐輪場への安全なアクセスルートを確保するために、自動車と自転車のエリアを区分する。

2. 来場者サービス機能

- 飲食店やキッチンカースペースを用意し、多様なニーズに対応。
- 憩い・交流スペースには健康遊具や子ども用遊具を設置し、地域にも開放。
- キッズコーナーや専用喫煙所を設け、ファミリー層や新規客の利用を促進。

飲食店(武雄競輪場)

(参考)キッチンカー

キッズスペース(浜名湖ボートレース)

3. 観覧機能

- 一般観覧スペースは見やすい位置に適切なサイズ・数のモニターを配置。
- 有料席や有料ブース席は個別モニターを設置し、快適な観覧環境を提供。

観覧用モニター(サテライト姫路)

有料ブース席(サテライト一宮)

施設整備イメージ

※整備イメージと実際の整備は変更になる可能性があります

4. 投票機能

- 車券自動発売機や払戻機を分かりやすい位置に設置し、適切な溜留空間を確保することで、混雑を緩和。
- 車券購入のみを目的とした利用者の利便性を考慮し、駐車場からアクセスしやすい場所に早朝・前売機能を配置。

車券自動販売機(サテライト姫路)

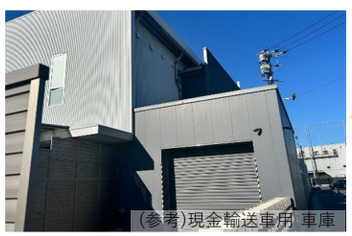
自動機前の溜留空間(サテライト一宮)

5. 管理運営機能

- 早朝や来場者が少ない開催区分は単独運用として管理運営をコンパクト化。
- 遠隔施錠・解除、デジタルサイネージ、来場者数自動カウントシステムを導入することで、少人数でも運営が可能に。
- 停電時のデータ消失や取引中断を防ぐため、無停電電源装置、自家発電設備等を設置する。

(参考)集計センター

(参考)デジタルサイネージ


(参考)現金輸送車用 車庫

防犯カメラや専用の現金輸送車車庫を設置し、セキュリティを強化！

想定スケジュール

新施設の工事期間中も車券発売を継続しながら整備を進め、令和11年度の供用開始を目指します。

	令和７年度		令和８年度		令和９年度		令和１０年度		令和１１年度	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
基本・実施計画	18ヶ月程度									
既存施設 解体工事			9ヶ月程度							
新施設 建設工事						18ヶ月程度				
開館準備										

※想定スケジュールは競輪の開催日程等により、変更となる場合があります。